

# 企画書

令和元年7月20日

## (仮称) カーリング北見国際アリーナ建設 夢 プロジェクト (案)

### 背景と趣旨

平成30年2月25日、ピョンチャン5輪カーリング女子でL S北見の日本が英国を破り銅メダルを獲得。深夜の街中をその感動が駆け巡った。

「北見」が一躍有名になり、ふるさと納税サイトへのアクセスが急増するなど嬉しい体験をした。街の新たな宝物（カーリング）の誕生です。

国は未来投資戦略2018「Society5.0」「データ駆動型社会」への変革、具体的施策（案）を策定、その中の「4,観光・スポーツ・文化芸術」の項目に『全国のスタジアム・アリーナについて、多様な世代が集う交流拠点として、2017年から2025年までに20拠点を実現する』と記述されています。

これを拠り所に『カーリング北見国際アリーナ建設の夢を育み、そのイメージを見える化し、これと同時にカーリング選手の皆さんを応援する』を目的に「カーリング北見国際アリーナ建設夢プロジェクト」を立ち上げる。

カーリング北見国際アリーナは1千人規模の観客席を有し、北見の観光開発や石北線の増客再生などにまで範囲を広げ。また2030年の北海道新幹線札幌延伸や冬季札幌オリンピックを見据えたものです。

本プロジェクトはスタートアップ的役割を担い、今後、発展的に変身をする。

### (仮称) カーリング北見国際アリーナ 夢 プロジェクトの立ち上げ

- (1) 名称：(仮称) カーリング北見国際アリーナ建設夢プロジェクト
- (2) 目的：カーリング北見国際アリーナ建設の夢を育み、そのイメージを見える化し、同時にカーリング選手の皆さんを応援する
- (3) 組織名称：(仮称) カーリング北見国際アリーナ建設夢クラブ
- (4) 事業：
  - A) L S北見の応援そしてチーム運営の支援
  - B) 内外の競技場や大会の情報の収集
  - C) 競技大会の運営に関する調査研究
  - D) まちづくりや観光開発とアリーナの関係についての情報交換
  - E) カーリング北見国際アリーナ建設に関する調査研究
  - F) 競技場のパース図（ラフスケッチ）を完成し、公開する
  - G) 行政や諸機関への提言
  - H) 講演会やフォーラムを開催し、当プロジェクトの啓蒙

### 活動のステップアップ

- 1) スタートアップ  
L S北見の皆さんとの交流や応援そしてチーム運営の支援の具体的活動  
フレ－ フレ－ ロコ・ソラーレ！！
- 2) アリーナ活動  
カーリング国際アリーナ夢プロジェクトの実現活動  
「着眼大局・着手小局」を座右の書に、まず出来る処から実行する。

### 企画発信

〒090-0022  
北見市北二条東2丁目6番地1 サンライズ北二条団地 66  
アイティデザイン研究所  
逢坂信治  
Tel/Fax 0157-31-2854  
E-mail shin.oosaka@nifty.com